

# 多様な応急給水方式

仙台市・川崎市・川口市

震災に備え水道事業者では、施設の耐震化や非常用飲料水貯水槽などの整備を行っている。しかし、東日本大震災では、ハード整備だけでは、実際に給水地点が有効に機能しなかったという課題もあった。各事業者では、これまでのハード整備に加え、応急給水地点の改造や住民が給水拠点を設置する体制づくりを構築するなど、応急体制の充実を図っている。ここでは、東日本の水道事業者の中から仙台市、川崎市、川口市の応急給水体制について取材した。

## 仙台市水道局

仙台市水道局では、東日本大震災の教訓を活かし、応急給水方式に対する方針を見直し、「東日本大震災の時に市内の半分が断水した場合、半分は水道が止まらなかつたとも言えます。断水した地区の情報収集は重要ですが、通水しない地区の情報収集は、市民の負担が大きいです。」「東京都では、おいしい水キャンペーンの一環で、学校の直結給水化を進めています。それは災害時にも有効な手段だと思います。」「(西野主幹)

## 小学校に直結の給水栓設置 地域協働で応急給水活動を

なればいけないという負担も軽減することができると馬場淳・同課管理係主幹兼係長は紹介する。

配水管から25の給水管を取り付け、給水栓を設置し、メーターと水抜き栓を設置するだけの工事で、1週間程度で工事は完了する。また、同局では、市民が操作しやすいように水圧を最小限とするように工夫し、4つの蛇口を設置するに必要

なればいけないという負担も軽減することができると馬場淳・同課管理係主幹兼係長は紹介する。

同課の小保内啓太・技師は「給水栓を一から特注品を作る費用が嵩みますが、今回は北川鉄工所の協力で、既存の地上型消火栓を基に、改良を加えました。外装を水色に塗り、放水口は特注しました。1カ所設置するのに、蛇口も合わせて1万7000円前後(含みます)と説明

「市民の皆さんに立ち上げてもらうので、使用方法を周知していく必要があります。学校や自治会の防災訓練などに併せて実際に使用してもらうようにしています。」「(西野主幹)

「市民の皆さんに立ち上げてもらうので、使用方法を周知していく必要があります。学校や自治会の防災訓練などに併せて実際に使用してもらうようにしています。」「(西野主幹)

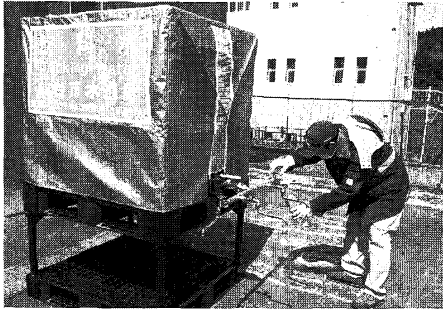
「市民の皆さんに立ち上げてもらうので、使用方法を周知していく必要があります。学校や自治会の防災訓練などに併せて実際に使用してもらうようにしています。」「(西野主幹)

「市民の皆さんに立ち上げてもらうので、使用方法を周知していく必要があります。学校や自治会の防災訓練などに併せて実際に使用してもらうようにしています。」「(西野主幹)

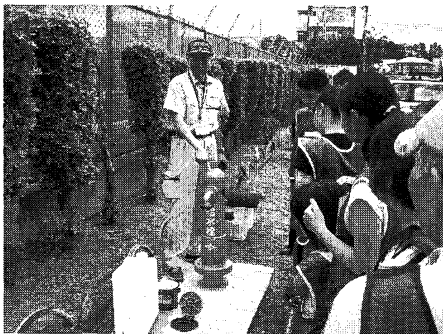
「市民の皆さんに立ち上げてもらうので、使用方法を周知していく必要があります。学校や自治会の防災訓練などに併せて実際に使用してもらうようにしています。」「(西野主幹)

「市民の皆さんに立ち上げてもらうので、使用方法を周知していく必要があります。学校や自治会の防災訓練などに併せて実際に使用してもらうようにしています。」「(西野主幹)

「市民の皆さんに立ち上げてもらうので、使用方法を周知していく必要があります。学校や自治会の防災訓練などに併せて実際に使用してもらうようにしています。」「(西野主幹)



断水区域には組み立て式給水タンクを設置し、給水所として利用



防災訓練などで使用方法を広く周知



給水栓セットは防災倉庫に保管

組立式仮設水栓のパネルはプラスチック製段ボールとスチールフレームで軽く、折りたたむとコンパクトに収納できる。設置できるのは民間企業のノウハウも借りながら、工夫している。」「(西野主幹)

「市民の皆さんに立ち上げてもらうので、使用方法を周知していく必要があります。学校や自治会の防災訓練などに併せて実際に使用してもらうようにしています。」「(西野主幹)



平成29年度までに市立小学校107校に設置予定小学校に消火栓を改良した応急給水栓を設置

「市民の皆さんに立ち上げてもらうので、使用方法を周知していく必要があります。学校や自治会の防災訓練などに併せて実際に使用してもらうようにしています。」「(西野主幹)

「市民の皆さんに立ち上げてもらうので、使用方法を周知していく必要があります。学校や自治会の防災訓練などに併せて実際に使用してもらうようにしています。」「(西野主幹)